しらゆりだより

第32号
発　行　静岡県立掛川東高等学校同窓会
発行日　令和7年(2025年)12月9日
印　刷　杉森印刷（株）

歴史という財産と継承と。



同窓会長　岩瀬亮子

同窓生の皆様におかれましては、日頃より本会の活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。九代同窓会会長として本年度も皆様にご挨拶を申し上げる機会をいただけますことに感謝を申し上げます。

さて、私たちの母校掛川東高の歴史を振り返りますと、その歩みは百余年に及びます。一九一三年に「掛川町立掛川実科高等女学校」として創立されて以来、幾多の変遷を経ながら今日に至っております。その長い歴史の中には、二度にわたる大戦もありました。困難な時代にあっても、先輩方は学びを止めることなく、青春を謳歌し、輝いた学生生活を送られていました。その姿勢は、今を生きる私たちにとっても大きな励みであり、受け継ぐべき大切な財産です。

また、本校は時代の要請に応える形で、女子校から共学へと大きな転換を遂げてきました。社会の変化に柔軟に応じながらも、受け継がれてきた健気さはまさに母校の誇りです。

同窓生一人ひとりが、その精神を胸に、社会の中で力強く歩んでおられることでしょう。

現在、世界を見渡しますと、決して安全、安心とは言い切れない状況が続いております。価値観も急速に移ろいゆく時代の中で、私たちが大切にしたいのは、「変えていくべきもの」と「変わらずに守り続けるもの」を正しく見極める目だと思います。母校の歴史が示すように、柔軟に変化を受け入れる勇気と、守るべき本質を見失わぬ確かな眼差しを次の世代へと引き継いでいきたいと考えています。

本同窓会は26,000名を超える皆様に支えられております。皆様の温かいお力添えがあってこそ、皆様の交流と親睦と、在校生への支援を継続することができています。あらためまして、これまでのご厚情に深く感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

「十年会」と旧校歌斉唱



校長　邑田聡一

7月5日の同窓会総会における「十年会」のスピーチは特に心に残りました。仮装行列に教頭先生も参加したこと、セーラー服姿の様子、〇〇先生に竹ぼうきで追いかけられたこと、教室で笑いが絶えなかったこと、合唱コンクールのこと、下校途中のコーヒー牛乳のおいしさなどなど、情景がありありと浮かびます。今と変わらないこともあれば、変わったこともありました。例えば制服。今はブレザーの選択制であり、今年から夏の制服に紺と白のポロシャツが加わりました。学校行事も、仮装行列や合唱コンクールはなくなりましたが、学校祭「桔梗ヶ丘祭」ではコスプレを楽しむ生徒もいれば、バンド演奏を楽しむ生徒もいます。形を変えて残っているといえるかもしれません。「十年会」のスピーチは本校の不易流行を知る絶好の機会となりました。

「十年会」の後は「校歌斉唱」です。「旧校歌斉唱」とアナウンスされました。校歌の歌詞が変更されたのは男女共学から5年後、平成14年です。「大和乙女」が「大和若人（わこうど）」に変更されたことを知っていたので、歌詞を見ずに歌い始めたところ、いきなり躓きました。今の校歌は「桔梗ヶ丘の空高く／輝き昇る」のは「日の光」です。旧校歌では「旭のみ旗」なのですね。旧校歌は昭和3年、御大典記念（ごたいてんきねん　※天皇即位の記念行事）として作成されたことを「創立100周年記念誌」を読んで知りました。

実は、この寄稿にあたり、同窓会だよりの創刊号から最新号まですべてに目を通しました。戦前戦中のことから、定時制の様子、衛生看護科に入った理由、桔梗ヶ丘校舎への思い、新校舎への期待など、掛川東高校で青春を過ごされた皆様の思いがひしひしと伝わってきます。同窓会だよりは、まさに本校の歴史そのものです。

最後に、同窓会の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。そして、今後とも本校の発展にお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

同窓会総会

令和七年七月五日（土）
於　掛川市生涯学習センター

昨年に比べ二週間ほど早く梅雨入りし、雨もほとんど降らないうちに、昨年より二週間早く梅雨明けとなった連日の猛暑が続くなか総会が開催されました。

令和六年度事業報告、会計、監査報告、令和七年度事業予定案、会計予算案について会場の皆様の承認をいただきました。続いて長年尽力いただいた竹島副会長解任による表彰、そのあと新役員の紹介がありました。

そして十年会の方々にも令和七年度、令和八年度とそれぞれ交替であいさつをいただきました。限られた時間の中でしたが皆様の元気な声を聞くことができとても感動しました。





同窓会役員紹介

顧　問	前会長	林　彰子	東高23回
本部役員	会　長	岩瀬亮子	東高26回
	副会長	川原和子	東高26回
	〃	山田広子	東高28回
	〃	渥美江津子	東高36回
	書　記	岡本秀子	東高28回
	〃	小林満里	東高29回
	会　計	佐藤久美子	東高28回
	監　査	田中登紀子	東高26回
	〃	平野美穂子	東高33回
理　事		山本よし子	東高26回
		福田まゆみ	東高26回
支部長	埼　玉	工藤淳子	東高41回
	掛　川	杉谷瑞枝	東高15回
	菊　川	山田いつみ	東高28回
事務局	〃	萩原智香子	東高28回
		岡田晴世	東高39回

同窓会総会　記念行事

出演者　COCO氏



この度は大変素晴らしい同窓会にお招きいただき、誠にありがとうございました。シンガー&MCのココです。

こんなにたくさんの、伝統・格式高い学校の卒業生の皆さまとご一緒できたこと、皆様のお話含めて、とても良い思い出となりました。

10代から90代まで、幅広い世代の女性が一体となって披露された「UFO」や「年下の男の子」はステージから見ても圧巻で、皆さまの可愛らしさやパワフルさに私自身が感動し、元気をいただきました。世代を超えて学校が深く愛されていること、皆様の仲の良さや、信頼や絆を感じました。

また、総会に少し参加させていただいた際には、卒業から50年、60年と長い時間を経た方々のお話に触れ、女性が歩んできた道の多様さ、そして人生の彩りの豊かさに心を打たれました。

急遽インタビュー形式で「公開ラジオ体験」を行った時間も、スポーツや美容、キャリアといった幅広いテーマが飛び出し、私にとって大きな学びと楽しみになりました。

スタッフの皆様からも温かいご配慮や素敵なおもてなしを頂き、本当にありがとうございました。

今回いただいたパワーを胸に、次のステージでも歌とトークを通して、より一層多くの方に笑顔と元気を届けてまいります。





令和7年度
70年会

感謝



東高11回卒
堀内　廣子
（鈴木）

私達の時代高校進学は六十％位、高校で学べて先生、友達に恵まれ幸せな時間でした。高校時代の思い出…学校を代表して高校の大会や三泊の体験学習に参加。朝霧高原の星空の中でキャンプファイヤー。高松宮妃殿下に我が校を紹介し大勢の高校生の前で緊張しました。進路指導で先生達が大学進学を進めて下さった。（四十才を過ぎて通信教育で短大卒業。）亡き先生達も喜んで下さったと思う。「あきらめなければ夢は叶う」感謝いっぱいの高校生活でした。今回は参加者は少ないが、輝く時を共有し一層の親睦を約束する。



令和7年度
65年会

60年会に出席して



東高16回卒
梶　孝
（海野）

隣に座っていた方に「エットお名前は」「エエ民子さん」卒業以来の再会でした。出席してよかったと思いました。東高に入学したのは女学校ならではの、のびのびした学生生活とテニスの部活を楽しみたいとの思いでした。女同士のおしゃべりは一生涯の友達を作ってくれました。テニスは今も続けて健康を支えてくれてます。もう一つの礎となったのは『とと姉ちゃん』が再放送されてますが『暮しの手帳』を図書館で教科書よりも読んだ事が私には為になったかと柔らかからず堅からずの気風が又良かった。



令和7年度
60年会

恩師の言葉大切に



東高21回卒
桑原　綾子
（桑原）

一九七十年の大阪万博の年に卒業し五十五年が経ちました。思えば一年の時の事が心に残っています。臨海学校の浜名湖での必死で泳いだ遠泳など。そして今も大切にしている恩師の言葉が二つあります。日本史の授業での「感激なき人生は空虚なり」この言葉を聞いた時は目が醒めました。年を重ねるにつれ感激のある人生を送りたいと思っています。もう一つは担任からの「井の中の蛙、大海を知らず」です。文章を書く事が好きな私にはとても励みになるアドバイスでした。新聞などへ投稿投句を積極的に続けています。



令和7年度
55年会

卒業から半世紀



東高26回卒
松浦美代子
（山崎）

家事・育事・介護を担うのは女性という概念の元、市内に勤めながらも忙しさに東高への気持が薄れていた50年でした。

今回縁あって年次委員となり同窓会に真正面から向き合えたことに嬉しさを感じています。

女子高時代には、宝塚さながら男役が似合う子がいたり、創作ダンスの授業があったり、懐かしくも素敵な想い出を、そして共学となった母校からは、高校野球に一喜一憂する楽しみをいただいています。

多くの先輩同様、しらゆりのように凛とした人生を全うすることが夢となりました。



令和7年度
50年会

なつかしい友との再会

令和7年度 45年会



東高31回卒
松浦裕美子
（中山）

卒業から四十五年、月日の立つのは早いものですね。

昨年は久しぶりのクラス会を実施することができました。恩師、クラスメイトとの懐しくも嬉しい再会を果たせました。時を経ても、幾つになってもセーラー服の女子高生だったあの頃の様に止まらないおしゃべりと笑い声は変わる事なく健在でした。あの頃の教室にタイムスリップしたごとく楽しい時間を共有できたクラス会になりました。

今回の同窓会は残念ながら皆さん欠席でしたが、次回またお会いできる日を楽しみにしています。



懐かしい東高

令和7年度 40年会



東高36回卒
ボストロム直美
（三ツ井）

卒業して四十年。子育てがひと段落し仕事もひと区切りになるも、家族のケアが始まりまだまだ忙しい年代。出席された方は数人ではありましたが、東高での思い出が次々蘇り話がはずみました。

運動場で体育館で講堂で、大きな声が…校内からは楽器の音色と歌声が響き渡っていました。とても懐かしく、沢山の友達の顔が浮び『会いたいな～』。

今それぞれの歩み…様々な事があると思います。もうひと頑張りですね！

次回一緒に東高の懐しい思い出を語り合える再会の時を楽しみにしています。



その後の私

令和8年度 70年会



東高7回卒
栗田　登子
（中島）

第7回卒業　昭和31年3月に卒業した私達は米寿を迎へました。4年前に大病をわずらい年令も大きいので死ぬかと思いました。おかげと元気をとりもどし、今は介護施設に行き楽しくすごしております。総会の時は当時の思い出など発表しました。そして楽しかったこと、うれしかったことなど思い出して、話に花がさきました。これからは明るく楽しくすごしてまいりたいと思います。



思い出、いろいろ

令和8年度 65年会



東高12回卒
鈴木　清子
（雪山）

早いもので卒業後六〇年余り年令も八十二才になりました。雨の日も風の日も砂利道を自転車で通学し今思えば楽しい思い出です。二年生の時に学校で富士登山をした事も懐かしい思い出です。富士登山も最近はいろいろ手続きがあり時代が変わりました。結婚を境に専業主婦として主人の転勤で二人の子供と共に関西と沼津での生活となり地元を離れその土地での人たちとの触れ合いが大変貴重な経験となりました。

東高の益々のご繁栄と同窓会のご盛況をご祈念申し上げます。



思い出

令和8年度 60年会



東高17回卒
横山こゆみ
（能勢）

私たちは団塊の世代と言われる時代に生まれました。高校を卒業して60年、アッという間に78歳。戦後20年たったとはいえ、まだ貧しい頃でしたが、高校生活で思い出されるのが北九州への修学旅行です。ちょうど東海道新幹線が開通したころだったのですが、新幹線の運賃が貯まっていないとのことで鈍行に乗って行きました。途中、確か岡山で一泊して行ったと思います。そして九州です！阿蘇のやまなみハイウェイや草千里の雄大さに息をのみグラバー邸で蝶々夫人を偲び、大宰府天満宮、西海橋から見た海の碧さ等、感激しつつ巡りました。忘れられない貴重な財産です。





令和8年度
55年会



令和8年度
45年会



令和8年度
50年会

四十年を経て、今歌う

令和8年度
40年会



東高37回卒
落合　貴子
（市野）

校歌「大和乙女の気高さ清さ～」と歌い終えた時、胸が熱くなりました。入学して初めての生徒総会で合唱部が讃美歌のように前奏を響かせてくれた日の感動は今も鮮やかに覚えています。そして今回、総会で四十年ぶりに大好きな校歌を大好きな友と一緒に声にできたことが本当に嬉しく、今も私の心を支えているのだとあらためて感じました。

総会終了後は、少人数ながらクラス会も開き、久しぶりに顔を合わせた仲間と語り笑い合う時間は、女子高生に戻ったような楽しいひとときでした。



母校学校祭
「同窓会コーナー」



6月7日に開催されました母校の学校祭に、同窓会として参加いたしました。今年はカフェテリアの一角に同窓会コーナーを設け、「母校の歴史年表」「同窓会の活動写真」を展示いたしました。年表では創立当初からの歩みを振り返り、節目ごとの出来事をパネルに掲示して紹介しました。来場いただいた方々が立ち止まり、同窓生、在校生や地域の方々から「母校の歴史を改めて知ることができた」との声をいただきました。展示を通じて、世代を超えて母校への理解と愛着を深めていただけたのではないかと感じております。

また、同窓会の活動写真展示では、これまでの総会や同窓会員活動の様子を紹介し、卒業生のつながりが今もなお続いていることをお伝えしました。「卒業後も母校と関わりを持てることが素晴らしい」との感想をいただき、同窓会活動の意義を再確認する機会となりました。

今回の参加を通じ、母校と同窓会の絆が一層強まったことを大変嬉しく思います。今後も在校生や同窓生の皆様と共に母校の発展を支え、同窓会活動をより充実させてまいりたいと存じます。

恩師の思い出　大竹良明先生



故　**大竹良明**先生（国語）

（昭和四十六年四月～五十三年三月）

朗らかな紳士

東高26回卒　岩瀬　亮子

53年前の担任ですので、鮮明な記憶は残っていないのですが、現代国語の授業では、凛とした姿勢で朗読されるその声は美しく、若い大竹先生に憧れておりました。クラスの友人４人と、生まれたばかりのお子様のお祝に教員宿舎に押しかけたこともありました。美しい奥様のおもてなしに感激しました。お子様を抱かれて本当に幸せそうな先生を囲んで楽しい時間を過ごしたのですが、何を話したのか忘れてしまっているのがとても残念です。早くに亡くなられたことも知り、卒業後お会いしておけばよかったと後悔しています。

大竹良明先生を偲んで

東高29回卒　栗田（浦野）　美春

大竹先生には二年間、持ちあがりでお世話になりました。

やんちゃな生徒から個性的な生徒となかなか大変なクラスだったと思います。卒業後、本当は一年で担任は降りるつもりだったが、他の先生から「あのクラスの担任は大竹さんしかいない」と言われ、私達と共に卒業することにしたと聞きました。

私は卒業してからずっと年賀状をやりとりさせて頂いておりました。先生の特長ある筆質で書かれた言葉に励まされたり、案じたりしておりました。

いつも本を手にされ、「文学」が似合う先生でした。　合掌

瑞宝双光章受賞のお礼



看護12回卒　市川（市川）　幸子

私は、看護師として、県立こども病院、掛川市立総合病院、菊川市立総合病院、そして現在介護老人保健施設と、小児から高齢者の方々まで、広く看護を提供してまいりました。患者様やご家族の一番近い存在として、一期一会の気持ちで、患者様、同僚と共に悩み、喜びながら過ごしてきた四十三年間でした。受賞は、先生方ならびに先輩方のご指導や、同僚、家族の支えの賜物と感謝申し上げます。

特に掛川東高衛生看護科で学んだ三年間は、私の看護の基礎を学ばせて頂いた大切な三年間でした。様々な学びは、実習や看護師になって役立ちました。高校生の頃は、気が付きませんでしたが、私たちが人生を歩んでいく時に出合う方々との関わりやその時の様々な学びは、すべて必然であり、自分の糧になってきたように思います。

私達の担任の佐藤先生は、クラスの中で何か問題が発生すると、クラス全員で、話し合うように場を設定して下さいました。その時には、話し合いの意味を十分理解していませんでしたが、私が話し合いの重要性について理解したのは、看護師として働きはじめて、何年か経った頃でした。患者様のことをカンファレンスで、病棟の看護師同士で話し合う時、患者様やご家族様の気持ちを十分情報収集してから患者様の代弁者となり、意見を伝えることや、同僚の意見を聞く事の大切さ、佐藤先生は大切なことを、看護師の卵の私達に伝えて下さっていたんですね。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



私は六十四才になりましたがこれからも、家庭や地域で大好きな看護を提供していきます。

同窓会から激励賞を贈呈しました

●六月にスペインで開かれた国際コンクール「ＩＴＥＣ」でセミファイナルに進み上位六人に入りました。

中村日奈陽（ひなた）さん（２年）





●十月に開かれた国民スポーツ大会に銃剣道（団体）種目で出場しました。

綿貫淳之介さん（２年）・大濱和生（かずき）さん（２年）



掛川市長へ表敬訪問



●卒業生進路状況

令和７年度

内訳＼科	普通科
進学	189名
就職	12名
進学準備	5名
家事・就職準備	0名
計	206名

●卒業生進学状況

令和７年度

内訳＼科	国立	公立	私立	小計
大学	14名	15名	130名	159名
短期大学	0名	4名	2名	6名
専修学校	0名	4名	20名	24名
計	189名			

●在校生数

令和7.5.1現在

学年		在校生数	合計
１年	男	83名	206名
	女	123名	
２年	男	82名	210名
	女	128名	
３年	男	88名	198名
	女	110名	
合計	男	253名	614名
	女	361名	

部活動の結果

部活動名	主な結果
陸上競技	・西部選手権　男子やり投３名、女子 400 mハードル・女子走幅跳・女子三段跳各１名、女子やり投２名　県選手権出場 ・インターハイ西部大会　男子やり投２名、女子 400 mハードル１名　県大会出場 ・インターハイ県大会　男子やり投１名　６位　東海大会出場 ・新人戦西部大会　男子やり投２名、女子 100 mハードル１名　県大会出場 ・新人戦県大会　男子やり投１名　６位　東海大会出場
テニス	・インターハイ西部予選ソフトテニス競技男子学校対抗戦　４位　県大会出場 〃　男子個人戦　12位　県大会出場 〃　女子学校対抗戦　６位　県大会出場 ・国民スポーツ大会静岡県西部地区大会男子個人戦　９位　県大会出場 ・新人戦ソフトテニス競技西部地区大会男子学校対抗戦　３位　県大会出場 〃　女子学校対抗戦　６位　県大会出場 〃　男子個人戦　７位13位　県大会出場
弓道	・インターハイ西部地区予選　男子個人１名　県大会出場 〃　女子個人２名(２位.３位)　県大会出場 〃　男子団体　県大会出場 ・新人戦西部大会　男子団体　第５位　県大会出場 〃　男子個人１名　第７位　県大会出場 〃　女子個人２名　県大会出場
男子バレーボール	・インターハイ西部地区予選　第７位　県大会出場
女子バレーボール	・インターハイ西部地区予選　第７位　県大会出場 ・インターハイ静岡県大会　ベスト16 ・西部選手権大会　第５位 ・全日本バレーボール高等学校選手権大会　県ベスト16
卓球	・インターハイ西部地区予選　女子ダブルス　ベスト24　県大会出場 〃　女子学校対抗　10位　県大会出場
バドミントン	・選手権西部地区予選　初心者の部シングルス　15位　県大会出場 〃　一般の部ダブルス　７位　県大会出場 ・新人戦西部地区予選　１年女子ダブルス　６位　県大会出場 〃　２年ダブルス　３、６位　県大会出場 〃　学校対抗　２位　県大会出場
野球	・第72回春季高校野球静岡県大会出場 ・第107回全国高等学校野球選手権静岡大会３回戦 ・第78回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会出場　ベスト16
吹奏楽	・第44回定期演奏会 ・第68回中部日本吹奏楽コンクール静岡県大会小編成の部　銅賞 ・第66回静岡県吹奏楽コンクール西部地区大会Ｂ部門　銀賞 ・第38回静岡県マーチングコンテスト　銀賞

俳句

東高21回卒　伊藤（鳥居）文子

『今年の四季の風景』
皆揃ひ初写真なり部屋狭し
一面の枯野踏み入り吾のきびす
夏夕焼影絵浮き出し街の屋根

東高21回卒　桑原（桑原）綾子

七月の歌声流る同窓会
青葉風友と折り紙教え合ひ
「おはよう」と耳にささやく鉄砲ゆり



《事務局からのお知らせ》

《令和９年度同窓会総会「十年会」年次委員様へ》

総会は今年度から２年に一度の開催となります。
次回は令和９年開催です。日程については未定です。
委員会についての案内は令和９年２月上旬郵送を予定しています。
令和９年度及び10年度「十年会」年次委員様が対象となります。（下表参照）
＊対象以外の年次委員の方も御出席いただけます。

	卒業年月	令和９年度　十年会			卒業年月	令和10年度　十年会		
75年会	S24.3	併設中２回（高校３回と同時入学のため令和９(2027)年開催）			S23.3	併設中１回（高校２回と同時入学のため令和７(2025)年開催済）		
	S27.3	高校３回			S28.3	高校４回		
		定時制１回				定時制２回		
70年会	S32.3	高校８回	定時制６回		S33.3	高校９回	定時制７回	
65年会	S37.3	高校13回	定時制11回		S38.3	高校14回	定時制12回	
60年会	S42.3	高校18回	定時制16回		S43.3	高校19回	定時制17回	
55年会	S47.3	高校23回	定時制21回	看護４回	S48.3	高校24回	定時制22回	看護５回
50年会	S52.3	高校28回	定時制26回	看護９回	S53.3	高校29回	定時制27回	看護10回
40年会	S62.3	高校38回		看護19回	S63.3	高校39回		看護20回
30年会	H9.3	高校48回		看護29回	H10.3	高校49回		看護30回
20年会	H19.3	高校58回			H20.3	高校59回		
10年会	H29.3	高校68回			H30.3	高校69回		
新会員	R9.3	高校78回						
	R8.3	※高校77回（令和８(2026)年は総会開催なしのため令和９(2027)年開催）						

総会等の開催年度及び総会案内対象「十年会」のお知らせ

	委員会（５月開催）	総　会（７月開催）	備考
令和８年度	開催なし	書面議決開催	
令和９年度	令和9.10年度十年会年次委員	令和9.10年度十年会員	改選
令和10年度	開催なし	書面議決開催	
令和11年度	令和11.12年度十年会年次委員	令和11.12年度十年会員	改選
令和12年度	開催なし	書面議決開催	

編集後記

かねてよりご報告させていただきました通り、本年より同窓会総会の開催を二年に一度に変更させていただきました。

令和二年から始まったコロナ感染症により私達も大切な人と会うことができない時期が続きました。今年の夏は例年に比べ、大変気温が高い日々が続きました。そんな中、七月五日に無事同窓会を開催することができました。当日、会場のあちらこちらで思い出話に花を咲かせて楽しいひとときを過ごす皆様の姿がありました。

皆様に喜んでいただき、私達役員一同ほっと胸をなでおろしています。これからも掛川東高同窓会のつながりを、大切にしていきたいと思います。

（岡本秀子）

しらゆりだより編集委員一同

題字　東高十回卒　樽松　文子
下地絵　東高三十四回卒　池田恵美子

同窓会会員数

令和７年３月現在

掛川町立実科高等女学校	260名	県立掛川第二高等学校	24名
県立掛川高等女学校	2,770名	県立掛川東高等学校	
家政専修科	94名	全日制普通科	21,261名
補修科	350名	衛生看護科	1,408名
（この内他校よりの入校生）	17名	定時制	887名
併設中学校	175名		
合計	26,802名		

＊同窓会の名を騙ったもので返送先が本校の住所でないものにはご注意下さい。